

群馬県立がんセンターで加療中の方へ

このたび群馬県立がんセンター 婦人科では、卵巣癌の病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

研究課題

“進行上皮性卵巣癌における 主治療前化学療法および腫瘍減量手術の適用に関する後方視的調査 GOTIC-019”

研究施設

主任施設

群馬県立がんセンター

研究責任者 中村 和人

研究分担者 山下 宗一、木暮 圭子

研究期間

調査対象期間：2015年1月1日から2015年12月31日まで

データ収集期間：倫理委員会承認時～2021年3月31日まで

研究対象となる方

2015年1月1日から2015年12月31日の間にFIGO進行期III期～IV期の上皮性卵巣癌あるいは卵管癌、腹膜癌の診断で治療を開始した方

研究の目的

本邦並びに欧米の研究結果から、進行した卵巣癌の場合、手術施行後抗癌剤治療をした患者と、抗癌剤治療施行後に手術を受けた患者の治療成績を比較した場合、生存率には有意な差が無いことが示されています。抗癌剤治療施行後に手術を受けた患者の治療内容を細かく検討することにより、改善すべき点を抽出し、治療の改善を検討することを目的としました。

研究方法

あなたが治療を受けた内容、経過、予後情報などについて、診療録から以下の情報を収集し、解析します。従って、新たな負担は発生しません。具体的な調査項目は下記のとおりです。

【調査項目】

1) 基本情報

年齢、臨床進行期（最終診断）、組織型（最終診断）、血栓塞栓症の有無

2) 治療開始時情報

身長、体重、臨床進行期（臨床診断）、腹水の有無（なし、あり（腹水除去を必要としない）、あり（腹水除去を必要とする）に分類）、CA125値、CEA値

3) 初回手術情報（試験開腹を含む）

手術日、術式（摘出臓器）、残存腫瘍（なし、最大径1cm未満、最大径1cm以上に分類）

4) NAC情報

開始日、レジメン、サイクル数、最終サイクル後のCA125値

5) 中間手術情報

手術日、術式（摘出臓器）、残存腫瘍（なし、最大径1cm未満、最大径1cm以上に分類）

6) 術後化学療法情報

レジメン、サイクル数

7) 終了時手術情報

手術日、術式（摘出臓器）、残存腫瘍（なし、最大径1cm未満、最大径1cm以上に分類）

8) 予後情報

再発進行診断日、死亡日または最終生存確認日、死因

患者情報の保護

個人情報、試料、データ等を正確に、検証が可能なように記録し、外部からのアクセスができない場所に保管します。公表の際には個人を特定できないようにして行います。患者の氏名、生年月日、カルテ番号、イニシャルなど患者が同定できる情報は用いませんが、追加調査が必要になる可能性もあります。その場合に備えて、当院において符号を用いて患者情報を保管し、追加調査に対応できるようにする予定です。

研究成果の公表

本研究の成果は、提供者本人及び家族の氏名等が明らかにならないようにして、学会発表や学術雑誌等で公に発表することがあります。

問い合わせ先

373-8550 太田市高林西町 617-1 群馬県立がんセンター婦人科

中村 和人

電話 0276-38-0771 Fax 0276-38-8386